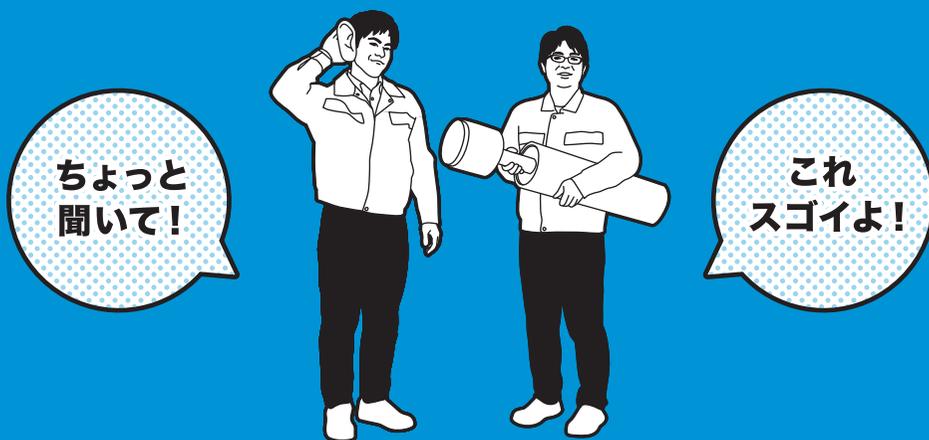


理工学系の

勉強をしている みなさん!



突然ですが、不二ラテックスという会社をご存知ですか？

「ゴム製品の会社でしょ」って？その通り。

でも実はもうひとつ、会社の柱となる製品が!!

それをつくる事業部(=精密機器本部)では、

理工学系のみなさんの力を存分に発揮していただくことができます。

ここならではの**エンジニア冥利**を、ぜひ知ってください!

不二ラテックス株式会社
精密機器本部





エンジニア
冥利
その1

つくっているものが おもしろい!



僕が
ご紹介
します!

機械科出身
設計開発職の

山本くん

(2012年入社)

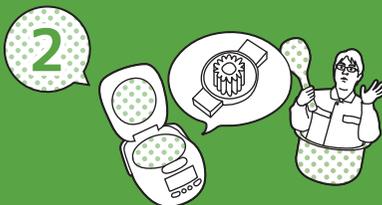
精密機器本部でつくっている不二ラテックス(以下「不二ラテ」)の目玉製品とは、「ダンパー」です。僕がご紹介したい「エンジニア冥利その1」は、そのダンパーという製品のおもしろさ。

えっ?「ダンパーって何?」って?大丈夫!何を隠そうこの僕も、就活で不二ラテに出会うまで、存在すら知りませんでした(笑)。でもこのダンパー、実は僕たちの生活のあちらこちらで使用されているんです。

見た目はちょっと地味だけど、“ある”と“ない”では大違い!スゴイ動きをするダンパーの奥深さをご紹介します!



隠れているけど、
実はスゴイ!



えっ!!
こんなところにも!?



“ゴムの不二ラテ”が
なぜダンパーを!?

隠れているけど、 実はスゴイ！

僕たちがつくっている「ダンパー（別名：緩衝器）」とは、カンタンに言えば、「音や衝撃を低減させるための部品」。身近なところでも多く利用されているのですが、表からは見えにくい存在なので、理工学系出身でもご存知でない方が多いようです。まずは、どんな働き方をするものなのか見てみましょう。

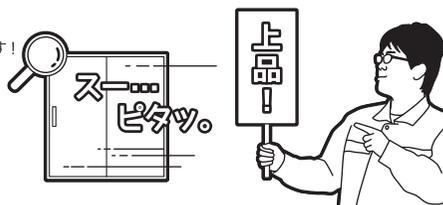


ダンパーが使われていない引き戸を、力いっぱい閉めると…

引き戸の「スーッ」「ピタッ」は、 何を隠そうダンパーのおかげ！

住宅でよく使われる「引き戸」。実は、ダンパーが使われているものと使われていないものがあるんです。ダンパーが使われていない引き戸を力いっぱい閉めると、戸が縁に当たった時に「バタン！」と大きな音が出てしまったり、反動で開いてしまうことがあります。一方、ダンパーが使われている引き戸は、力いっぱい閉めても戸が縁に当たる直前で動きがゆっくりになり、最後はスーッと静かにピタッと閉まります。

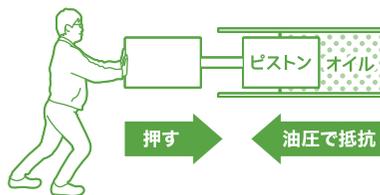
ダンパーはこのあたりに設置されています！



ダンパーのしくみを簡単に説明すると…

引き戸を閉める際、戸が縁に当たる手前でダンパーに衝突し、ダンパー内部のピストンが押されます。その際、油圧の抵抗力により戸のエネルギーを吸収するので、バタン！と大きな音を立てることなく、静かにゆっくりと閉めることができます。ちなみに、精密機器本部のキャッチコピーは『Motion Control & Design』。ダンパーが「動きをデザインする」製品ということからきています。

Motion Control & Design



2



えっ!! こんなところにも!?

ダンパーは引き戸以外にも、トイレのフタや家具の引き出し、炊飯器、さらには工場の生産設備など、いろいろなシーンで使用されています。「開閉の動きに高級感が出る」「安全性が増す」といった理由で、国内・海外ともにニーズが拡大中! オイル・部材・形状などを変えることにより動き方を自由にコントロールできるので、様々な製品に応用できる可能性に満ちています。

もうすっかり当たり前。そう、この動きもダンパーです。



炊飯器のフタが
ゆっくり開く



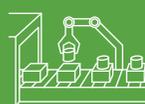
トイレのフタが
ゆっくり閉まる



引き出しが
ゆっくり閉まる



新幹線の
背面テーブルが
ゆっくり下りる



工場の
生産設備が
スムーズに動く



なんと、
リハビリ用
装具
にも!!

衝撃を吸収したり適度な抵抗を生むことで、足首の筋力を補っています。

ダンパーの可能性は無限!

ダンパーのことなら、まかせてください!

ダンパーと一口に言っても、サイズや形など実に様々。競合他社では扱ったダンパーの種類が限定される場合も多いのですが、不二ラテ精密機器本部では、ダンパーと名のつくものには境界を設けず果敢に挑戦! 「まずはやってみよう!」という気持ちで様々なケースに挑戦し、日々技術を磨いています!



回転型のダンパーや、
電気制御式のダンパーもあります



3



“ゴムの不二ラテ”が なぜダンパーを!?

不二ラテックスは、もともとはゴム製品のメーカー。「長年培ってきたゴムの薄膜の技術を何かに応用できないか」というチャレンジ精神が、ダンパーの製作を始めるきっかけとなりました。

ゴムの技術を活かして生まれたのが、ダンパーの中に入っているパーツのひとつである「オイルの漏れ止め」。その後、ダンパー全体の開発に取り組み、製品化に成功。以来順調に業績は向上し、今や会社を支える事業に成長しました。

不二ラテ精密機器本部
ならてはの



つくるプロセスに ワクワク!!

僕が
ご紹介
します!

建築科出身
設計開発職の

酒巻くん

(2017年入社)

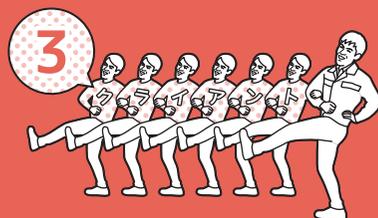
これから僕が、「エンジニア冥利その2」をご紹介します。それは精密機器本部の中でも、設計開発職に関すること。実はうちの設計開発職は、ダンパーができるまでのすべてのプロセス、つまり製品の企画から開発、試作、検証試験、そして量産化に至るまで、全工程に関わることができるんです。これは、他社ではなかなかできない体験！すべてに関わるといってももちろん責任感は増しますが、ものづくりが好きな理工学系の人にとって想像を越えたおもしろさがあるはず！僕も、常にワクワクしながら臨んでいます。



1
「設計だけ」
「開発だけ」では
物足りないあなた!



2
ヒット商品誕生の
チャンス!?



3
クライアントと
一緒につくる!!

1 「設計だけ」「開発だけ」では物足りないあなた！

設計開発職
の仕事の流れ

「設計開発職」と聞くと、製品づくりの最初の一部分だけというイメージが強いかもしれませんが、不二ラテ精密機器本部ではひとりのエンジニアが、製品が実際にかたちになり量産されるまでの全工程に関わります。これこそが、ここで設計開発の仕事をする最大の「エンジニア冥利」なんです。



製品企画

世の中のニーズや営業部からの依頼をもとに、新製品の企画を立てます。



開発計画立案

仕様や予算を検討しながら、製品化までのスケジュールを組み立てます。



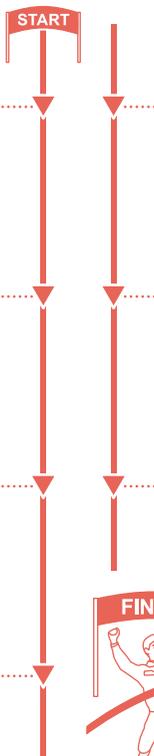
試作

計画に基づき、設計・部品加工・寸法測定・組立などを行い、試作品を製作します。



検証試験

試作したダンパーが目標仕様を満たしているか、実験で確認します。



量産試作

量産設備を用いた最終試作。製造課とともに安定した生産が可能か確認します。



製造移管

最終図面、仕様書などの必要書類を作成し、量産の管理を製造課に移します。



量産

量産がスタートしてからも、品質面に問題がないか最後まで責任を持って見守ります。



工場がキレイです！

「工場は暗い・汚い」というイメージを持っている方、当社の工場は全く違います。明るくキレイな環境で仕事ができます。



研修制度が充実しています！

入社後、最初に約3ヶ月間の新入社員研修があります。ビジネスマナー研修をはじめ、設計開発の部署だけでなく、製造、品質保証などの各部署の仕事を経験できます。工場全体の流れがつかめるだけでなく、今後仕事を進めるうえで各部署のスタッフとコミュニケーションがより取りやすくなります。

先輩たちが親身に教えてくれます！

企画から量産の全工程に関わるとお話ししましたが、入社1年目からすべてをまかされるわけではありません。まずは先輩社員にアシスタントとして付き、全工程を経験することからスタート。設計開発の仕事は先輩からしっかりと学べるので、安心して独り立ちすることができるんです。

2

自社標準品

ヒット商品誕生のチャンス!?



市場ニーズに合致すると、
需要が大きく伸びる可能性があります!

自社標準品は、当社のカタログに掲載される製品です。「こんなシーンに使える、こんなダンパーがあったら!」と考えながら企画開発を行います。形状やサイズ、部材も様々で、そのバリエーションの数は業界No.1です。近年では、家具や引き戸に使用する『プラスチックダンパー』を開発。消費者と住宅設備メーカーのニーズに合致し、大ヒット商品となりました。

3 クライアントと一緒につくる!!

特注依頼品



様々な業界のクライアントと
直接相談しながら製品づくりを行います!

特注依頼品は、「自分たちの製品で、ダンパーをこんな風に使いたい」というクライアントのご要望から企画がスタートする製品です。クライアントは、電機、家具、住宅、医療、自動車など、多岐のメーカーにわたっています。自社標準品をカスタマイズしてできるものから、オリジナルで開発する製品まで、クライアントと直接打合せをしながら求められる動きをカタチにしていきます。

対人スキルも磨けます!

営業スタッフとクライアントとの打合せに同席することもあります。事前に打合せのトレーニングも行うので、口ベタでも大丈夫! 僕も徐々に慣れ、今では打合せの楽しさを感じるようになりました。

私たちの仕事の魅力、
感じてもらえましたか?
詳しくはぜひ、

会社説明会

この部署の楽しい雰囲気は、社員と会えば一目瞭然!
また、ここでは伝えきれなかった「エンジニア冥利」も
実はまだまだありますので、ぜひお気軽にご参加ください。





社員企画のイベントも たくさん!

納涼祭や忘年会、社員旅行など、不二ラテックスでは社員が企画したイベントがたくさんあります。「会社の行事なんて面倒くさい」って? 実はこれが結構おもしろくて、気づくとみんな本気で楽しんでいます(笑)。



2016年に工場を増築し、製品展示室も誕生しました!

不二ラテックス株式会社
精密機器本部 (新栃木工場)

〒328-0124 栃木県栃木市野中町1276
TEL.0282-30-1156
<http://www.fujilatex.co.jp/>